ハンバット大学
Hanbat National University

●学部学生 9,500人　●大学院生 460人　●教員 1,200人
ホームページ　http://new.hanbat.ac.kr/html/en/
交流協定締結年月日：2008年11月14日　　主管学部：創造工学部

▲ハンバット大学協定校訪問の様子

国際交流の特色

韓国の国立大学で、特に工学系に強みを持ち、当工学部と関係深い学科および研究内容がある。ソウルとプサンの中間の大田（Daejeon）に位置する。産学連携や企業との共同研究、化学分析認定などにも多くの実績がある。アメリカ、イギリス、中国、ベトナムなど29カ国100大学と国際交流協定を結んでいる。日本では、岩手大学をはじめとし7校と協定を締結している。アメリカ・ミシシッピ大学と、イギリス・Surrey大学の間にデュアル・ディグリー制度を設立している。

交流実績（平成２９年度～３１年度）

年度 / 受入・派遣	H29	H30	H31
学生の受入	3	3	3
学生の派遣	5	10	8
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	3	1	1

平成25年度　ハンバット大学との
合同研究会、企業訪問

平成26年度　ハンバット大学
事務職員研修

教員からの声

ハンバット大学の閔教授とは研究分野（人間工学）が類似しており、毎年、双方の学生が行き来しています。たとえば、福祉機器やユニバーサルデザインなどの生活支援工学に関連した研究テーマについてお互いの研究成果についての報告会を開催しています。毎年11月には、香川大学とハンバット大学が連携したワークショップを開催し、両校の学生４０名程度が参加した研究交流を行っています。ここ数年は、香川大学から教員1～2名と学生7～８名が、毎年ハンバット大学を訪問しています。また、ハンバット大学の学生が工学研究科の博士前期課程および後期課程に入学し、香川県内の企業と香川大学との共同研究にも参加しています。なお、ハンバット大学が位置するテジョン市へは、高松空港からインチョン国際空港への直行便で移動してからリムジンバスでアクセスすることが可能ですから、高松からの訪問がとても容易です。

創造工学部教授　鈴木　桂輔

教員からの声

2009年に、「大気圧低温プラズマの発生技術およびその応用」に関する研究についてKim, Yoon-kee教授と国際共同研究を開始し、研究室間の交流を現在まで深めてきました。2011年度から現在までに、ハンバット大学の学生を６名それぞれ1年間受入れてきました。我々の国際共同研究に関するテーマについて、うちの日本人学生と一緒に実験研究を行ったり、日本語の勉強を行うために講義を受講したりしました。2010年からは毎年、香川大学工学部において、２校の共同主催により、「香川大学およびハンバット大学による材料関連合同研究会」を３回にわたり開催しました。ハンバット大学からは毎回４、５名の教員と１５名程度の学生が参加してくれました。うちの教員・学生も参加し、総勢約 60名参加の国際ワークショップを開催することができました。来日した教員・学生は翌日、県内企業の企業訪問も実施しました。また、日本からハンバット大学へ留学する学生もできました。今後も、大学間の交流を深められるように頑張っていきたいと思います。

創造工学部教授　須崎　嘉文